

えがお便り

患者様と看護師の笑顔のために・・・



皆さま こんにちは。

平成29年度3回目の「えがお便り」は、学会のトピックスと訪問看護の紹介、来年度6月までの学会の案内をお届けしま～す！

✧ 学会トピックス ✧



透析看護認定看護師の永井美裕貴です！

「第20回日本腎不全看護学会学術集会総会へ参加しました」

今年度は10月21日、22日に「寄り添い、支え合う腎不全看護を未来へつなぐ」をテーマに岩手県盛岡市で開催されました。今年度は、学会創立20周年の記念大会で、「尾木ママの叱らない共感教育」という記念講演や、透析治療や看護のトピックスを交流集会や参加型の「がってんセミナー」など新企画も充実しており、新人が参加しても勉強になるように企画されていました。また、20周年の祝賀・懇親会があり、米沢牛のしゃぶしゃぶ(勝手に)食べ放題で満足度の高い1日目を過ごしました。しかし・・・！10月22日といえば・・・そう、あの超大型台風のため甲南病院のガラスが割れた日です！参加したいプログラムはたくさんありましたが、結局2日目は、飛行機の予定を新幹線に変更し早めに盛岡を発ち帰神しました。新幹線は東京の乗り換えを含め5時間30分かかりましたが、電車が止まる前に無事家に着きました。

日本腎不全学会は来年は長野県、再来年は札幌で開催されます。どちらも遠いですが、旅行がてら学会に参加してみませんか？

透析看護認定看護師の岡本雅代です！

第54回日本糖尿病学会近畿地方会で発表してきました

当院の糖尿病透析予防指導が開設されて5年になり、その5年間の指導の評価をまとめたものを学会で発表してきました。当院の看護外来の特徴は、医師と管理栄養士と一緒にタイムリーに患者の情報を持って関わっていること、患者さんの行動変容が見られるまで長期間に関わっていることです。その指導により長年変わらなかった患者の生活習慣が徐々に変化し、行動変容が見られた患者2事例を通して具体的に指導状況を紹介した発表をしました。

来年度は神戸国際会議場で行われます。興味のある方は、近くですのでぜひご参加ください！

認知症看護認定看護師の田村浩恵です！

初めて学会の準備委員として関わりました

平成29年8月31日、9月1日に神戸で第48回日本看護学会慢性期看護学術集会を兵庫県看護協会主催で開催され、今回初めて学会の準備委員として参加しました。準備委員の仕事内容は、

①大会テーマ、②ポスター作成、③基調講演、特別講演、シンポジウム、交流集会、ランチョンセミナー内容と講師の決定、④前年度の学会視察等を行い、他にはコングレスバッグの選定がありました。開催日まで1年6ヶ月費やし、「学会を作るってこんなに大変なんだ」と体験しました。

学会当日は準備委員として私は口演会場の担当していましたが、1日目に「エンド・オブ・ライフ・ケア」の口演発表があり、そこに参加者がどっと集まったため、狭いフロアがあつという間に大人数となり、私自身が 大パニックになって、インカムで思わず「助けてください！！」と叫んでしまいました。応援が来て何とかおさまりましたが、久しぶりに冷や汗をどっとかきました。初めは大変なことを引き受けたと思いましたが、今になればよい経験をさせて頂きました。



認知症看護認定看護師の田村浩恵です！

老人看護専門看護師・認知症看護認定看護師(GCNS・DCN)合同研修会に参加しました

平成29年12月24日に開催された合同研修会(名古屋)に参加しました。

クリスマスイブなのに、会場内は満員でした。

議題は、認知症ケア加算についてでした。午前中はシンポジウムでGCNSとDCNから実践内容と現状報告があり、活発な意見交換がありました。認知症ケア加算については、どの医療機関も手探りの状態で、課題も多くありましたが、課題の共有がすることで、実践に繋げるヒントになりました。

午後はグループワークで、CNとしてできること、個々の課題を出し合いました。グループメンバーのほとんどがケア加算Ⅰを取得していましたが、あえて加算Ⅱしか取らないという大学病院もありました。話し合いの中で、最終的にはCNとして患者により看護が提供できるように日々頑張っていこうと誓い合いました。



お昼は味噌カツ
サンドを食べました。



認知症看護認定看護師 別府恵子です！

ただいま訪問看護を勉強中！！

～訪問看護ステーションで当事者視座を見直す～



平成29年の7月から甲南訪問看護ステーションで働くようになりました。病院、施設で働き看護師経験は20年以上あるものの、訪問看護では**新米看護師**です。看護技術は、清潔援助、体調管理、足浴、リハビリ、整容、服薬管理などそう難しいものはありませんが、患者さんに合ったやり方やその家にあるものを使って看護を時間内で行うことが結構難しいと感じました。その中で、認知機能の低下があり、服薬がうまく行えないので服薬管理を依頼された独居高齢患者のケースを紹介します。週1回の訪問で1週間分の薬をセットし、それをいかに飲んでいただくかを考えます。まず、中核症状の把握から行います。記憶障害はあるが視覚的記憶は保持が優位でした。見当識障害があり、日付はわからないが時計は読め、朝昼夕は理解できているなどの情報収集から目に付く場所に薬を服用するように張り紙などでメッセージを残しながら1週間服薬できるのか見ながら調整していきました。調整が訪問看護だけでは困難である場合、ケアマネと相談しながらその他の介護サービスなどと連携を図っていきます。このように、当事者の問題を解決するときは、当事者のいろいろな条件、環境のなかで考えていかなければ解決できないというところに看護の面白さを感じて日々頑張っているところです。

その一方で、言動や同居人の話などから認知症が疑われる高齢者が多く在宅で生活されていることにも驚きを感じており、認知症看護認定看護師が地域で活躍することの必要性を感じながら勤務しています。

< えがお便利 新人認定看護師のぼやき >

認定看護師は、上司や後輩、他部署や他部門の職種ともコミュニケーションをとらなければならない。そして、自身の考えをエビデンスをもとに伝えていく必要がある。どうやら私はこれが苦手なようだ。うまく自分の思いが伝わらないと感じることがしばしばある。教育課程の頃から、言語化できていないと言われては、レポートや実習記録を書き直した。臨床に戻ると、言語化できない自分をさらに実感する。

そこで藁にも縋る思いで1冊の本を手にとった・・・『**伝え方が9割**』

そこには伝えるための様々な技術が紹介されていた。

例えば、「**そうだ、京都行こう！**」というJR東日本のCMの言葉。これは、サプライズ法という技術が駆使されており、伝えたい言葉がより強調されるのだとか。そこで実際に私も活用してみる。

「そうだ、心不全看護しよう！」

ん～・・・、自分の考えを言語化できるようになるまで、まだまだ時間がかかりそう。



よしかわ

2018年6月までの学会の案内です！

学会 研修会	開催日/場所	どんな学会？
環境感染 学会	2/23、24 品川	感染管理の分野では一番大きな学会。最新の 情報や現場での取り組みを学び自部署で試し てみませんか
循環器学会	3/23～25 大阪	循環器領域で一番大きな学会。Nsやコメディカル もたくさん参加！以外と安い！
緩和医療 学会	6/15 神戸	これからの時代、緩和ケア病棟でなくても緩和 ケアは必須！ぜひ勉強を！
日本認知症 ケア学会	6/16、17 新潟	「あなたの隣にいます 認知症の人も、わたし も」
日本老年 看護学会	6/23、24 久留米	「つなぐ、つくる、つたえる 老年看護の創出」 より豊かに生きることを支え合う-
日本透析 医学会	6/29～7/1 神戸	透析関連の学会で一番大きな学会です。医師 だけでなくコメディカルの参加も多数あります。

興味のある方は是非ご参加ください！！
不明な点は私たちに尋ねてください！！



編集担当者より

2018年が始まりました。

極寒の日々が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

お鍋などまだまだ暖かい食べ物が恋しい季節ですね。

同時に今まさにインフルエンザAとBが大流行中ですので、感染予防にお気をつけ
ください。手洗いが重要です！マスクは正しくつけましょう

ご相談などありましたら、気軽に看護支援センターメンバーへお声掛け下さい。

六甲：窪田・米村・岡本